

学生・教職員のみなさん

## 新型コロナウイルス感染症対策室

宮城教育大学は、10月1日開始の後期授業から密閉・密集・密接の3つの密を回避できる授業は可能な限り対面授業として実施しています。実施されている対面授業では座席配置や換気などを工夫し、3つの密が重なることを回避しています。

しかし、お昼休みの萩萌会館の2階は密集・密接な状態が生じており感染防止の観点からは懸念される状態です。萩萌会館2階が混んでいるときには、時間をずらしての利用または屋外・他の施設等の利用により萩萌会館2階が密集・密接な状態とならないようしてください。

また、大学内のみではなく、アルバイトや日常生活の全ての場面で、密閉・密集・密接の3つの密が重ならないような生活習慣を身に付けてください。

マスク着用に加えて、こまめな手洗い、手指の消毒やアルコールを含んだウェットティッシュの携行等の習慣も身に付けてください。

10月下旬から宮城県においても新型コロナウイルスへの感染が再拡大し、予防策の徹底がさらに求められている状況です。1日当たりの国内の感染者は、4月上旬をピークとする第1波では700人前後でしたが、7月下旬をピークにする第2波では約1,600人と感染者が増え、第3波と考えられる現在では約2,600人と1日当たりの感染者数がこれまでで最も多くなっています。傾向としては30歳代以下の重症者・死亡者数は非常に低くなっていますが、第3波では高齢者の罹患が多くなり高齢者の重症者及び死者数が増えています。

若く健康な学生の皆さんは、感染しても重症化するリスクは低く、症状さえないこともあります。しかし、基礎疾患のある人や高齢者にとっては重症化し死亡するリスクのある軽視できない感染症です。

大学のキャンパス内にいる学生・教職員の中には、高齢者と同居していたり、本人に基礎疾患のある人もいます。このようなことから、自分自身のためのみならず大学内にいるお互いのためにも感染防止には最大限の配慮が求められます。今一度、気を引き締めて感染症予防対策の徹底をお願いします。

これから寒くなり、換気が滞り、かつ飲酒を含む会食の機会が増える季節を迎えます。感染予防の観点から内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室では、次の「5つの場面」を感染リスクが高まる場面として、感染予防のために回避するよう呼びかけています。本学の学生・教職員のみなさんも、今後、しばらくの間は、お互いのために次の「5つの場面」の回避を徹底して実行するよう要請します。

## 感染リスクが高まる「5つの場面」(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室)

### 【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・ また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

### 【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

### 【場面3】 マスクなしでの会話

- ・ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・ 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

### 【場面4】 狭い空間での共同生活

- ・ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

### 【場面5】 居場所の切り替わり

- ・ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
  - ・ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

